

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

脳卒中で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	回復期病棟退院後復職に至った脳卒中患者の運動機能の傾向
2. 研究の対象者	2013年 1月 1日から 2019年 12月 31日の間に、脳卒中の診断で当院回復期リハビリテーション病棟に入院された就労年代の方
3. 研究期間	令和3年 11月 22日 ~ 令和3年 12月 31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 荒木 正人 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	就労年代における脳卒中患者様の復職率はおよそ4～5割とされています。脳卒中患者様の復職に関する過去の研究では運動麻痺の程度や失行は復職との関連が強いとされています。運動麻痺の程度は軽度、中等度、重度などの大分類で検討されており、特に上肢機能についての詳細な評価項目では検討されていません。そのため本研究では詳細な上肢運動機能評価と復職率との関連について検討し、要因を分析することを目的としています。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。診療録（カルテ）より身体機能評価や画像検査などを情報収集し、それらの結果を用いて脳卒中の復職と身体機能との関連性を調査します。個人の特定が可能な情報は解析に用いません。特に患者様に新たにご負担いただくことはありません。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、入院時と退院時の重症度、復職の有無、職種（ブルーもしくはホワイト）、入院時と退院時の認知機能、注意機能、上肢下肢の運動麻痺、非麻痺側の握力、バランス能力、移動形態、在院日数、日常生活動作評価の合計などのデータ
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データの破棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏洩することのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 荒木正人
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 荒木正人 電話：06-64458-5821（代表）